

ハートチームスタッフの専門性を活かして、 個々の患者様に合った医療を提供します。



当院には心臓リハビリ指導士が2名在籍しており、運動療法を中心とした包括的な心臓リハビリテーションを提供しています。ハートチームでは、運動や活動に伴う循環動態の変化を考慮した安全かつ効果的な運動や生活指導を行っています。定期的に勉強会を開き、心臓リハビリ指導士の育成にも取り組んでいます。



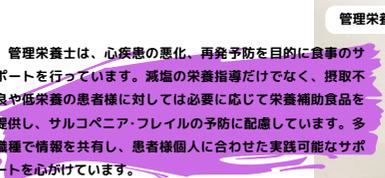
ハートチーム看護師は安心・安全に療養生活が送れるよう外来・病棟間での情報共有を大切にし、急性期治療時から退院後の生活まで支援できるように心がけています。患者様が安心、自信を持って心疾患と向き合えるようには〜とダイアリーの導入や生活指導、外来受診時の生活相談などを実施しています。



心疾患患者様は薬が増え、内容が変更になることが多いのでわかりやすく説明することを心がけています。は〜とダイアリーには薬の写真や載せ自身の内服している薬を把握しやすくしています。一酸化やお薬カレンダーの活用など患者様に合った薬の管理方法を提案し内服支援に努めています。



検査技師はハートチームの一員として検査値や画像という観点から患者様の心臓を中心とした全身の状態を見守り、医師や看護師にわかりやすく結果を伝えるのが仕事です。心エコーや心電図、血液、尿検査まで様々な検査を担当しています。検査に対して疑問点やご不安なことがあればいつでも聞いて下さい。



管理栄養士は、心疾患の悪化、再発予防を目的に食事のサポートを行っています。減塩の栄養指導だけでなく、摂取不良や低栄養の患者様に対しては必要に応じて栄養補助食品を提供し、サルコペニア・フレイルの予防に配慮しています。多職種で情報を共有し、患者様個人に合わせた実践可能なサポートを心がけています。



社会福祉士 (MSW)は、社会福祉の立場からハートチームに参加しています。患者様それぞれに対応した社会保障制度 (医療費、身体障害者手帳、介護保険等) の相談、療養生活上の不安について、患者様、ご家族と一緒に不安の解消に努めています。地域の皆さまとともに、より良いシームレスな治療・療養の連携、療養継続支援を図ることができるよう努めて参ります。



医療機器の専門職としてハートチームに参加しています。人工呼吸器・ペースメーカー・リハビリ機器などの医療機器を管理し、安全に使用できるように、務めています。ハートチームでは多職種連携の一員として、患者様が使用する医療機器のサポートをさせていただきます。

名古屋記念病院 ハートチームのご紹介

ハートチームとは

こんにちは。私たちは名古屋記念病院ハートチームです。私たちは2018年6月にチームを発足し活動をしています。わが国では年間約1万人の心不全症例が増加しているという統計があり、「心不全パンデミック」と呼ばれています。また心不全は原因が様々であり患者様の数だけ管理方法が異なると言っても過言ではありません。そのような状況で主治医が独りで管理することは困難を極めているため、近年、多職種連携で疾病管理をすることが推奨されるようになりました。当院もチーム発足から様々な職種の方に関わっていただき様々な課題を乗り越えてこられたと自負しています。

延命だけではない患者様の意向に沿った「諦めない心不全診療」をモットーにして日々活動しています。



